

2010年2月17日

厚生労働省
社会援護局障害保健福祉部
精神障害保健課長
福田祐典 様

日本デイケア学会
理事長 窪田 彰

平成22年度診療報酬改定案に対する要望書

平素は、地域精神医療の発展のためにご尽力いただきありがとうございます。

当学会は、日本の精神科デイケア及び高齢者デイケアを実施している医療機関等の職員・研究者及び関係者（約1000人）で構成されている団体です。

さて、この度平成22年度の診療報酬の改定案が中医協より示されましたが、精神科デイケア及び重度認知症患者デイケアについて大きな変更案が出されており、現場で働く私たちは精神障害者のリハビリテーションにブレーキがかかるのではないかと不安を感じております。

精神疾患を持つ方たちに退院促進と地域定着支援を進め、地域で安心して暮らせるために、日本デイケア学会として以下の点につき再考をお願いいたします。

記

第1には、食事加算を廃止せず継続して下さい。

理由：食事加算により、健康維持が保たれているデイケア・ナイトケア通所者は多く、地域への定着に大変役立ってきました。食生活の面からの治療機能の低下は、大きなマイナスとなります。

第2には、食事加算の存続が難しい場合、デイ・ナイト・ケアのみが、これまでの食事加算を加えた点数と比べて56点の減点となっております。食事2回分が廃止されていますから、1040点ではなくせめて1080点にして下さい。

理由：これは、5%を超える過激な減点であり、現場に甚大な影響をもたらすものであります。地域で生活する精神障害者の中でも、重症な患者がデイ・ナイト・ケアに通所しております。重症な患者への治療機能こそが重視されるべきと考えます。

第3には、精神科デイケアへの参加の初期1年間に50点の加算が付いておりますが、1年間では短すぎます。少なくとも3年間にして下さい。

理由：デイケアでのリハビリテーションが1年間で卒業できる方はほんの一部です。少なくとも2年間かけてやっと障害者就労ができるか、それ以上かかる方が多いのが実際です。

以上

日本デイケア学会事務局：東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F
(有)エム・シー・ミュージズ内 TEL：03-3813-6368

2010年2月17日

厚生労働省
保健局医療課長
佐藤敏信 様

日本デイケア学会
理事長 窪田 彰

平成22年度診療報酬改定案に対する要望書

平素は、地域精神医療の発展のためにご尽力いただきありがとうございます。

当学会は、日本の精神科デイケア及び高齢者デイケアを実施している医療機関等の職員・研究者及び関係者（約1000人）で構成されている団体です。

さて、この度平成22年度の診療報酬の改定案が中医協より示されましたが、精神科デイケア及び重度認知症患者デイケアについて大きな変更案が出されており、現場で働く私たちは精神障害者のリハビリテーションにブレーキがかかるのではないかと不安を感じております。

精神疾患を持つ方たちに退院促進と地域定着支援を進め、地域で安心して暮らせるために、日本デイケア学会として以下の点につき再考をお願いいたします。

記

第1には、食事加算を廃止せず継続して下さい。

理由：食事加算により、健康維持が保たれているデイケア・ナイトケア通所者は多く、地域への定着に大変役立ってきました。食生活の面からの治療機能の低下は、大きなマイナスとなります。

第2には、食事加算の存続が難しい場合、デイ・ナイト・ケアのみが、これまでの食事加算を加えた点数と比べて56点の減点となっております。食事2回分が廃止されていますから、1040点ではなくせめて1080点にして下さい。

理由：これは、5%を超える過激な減点であり、現場に甚大な影響をもたらすものであります。地域で生活する精神障害者の中でも、重症な患者がデイ・ナイト・ケアに通所しております。重症な患者への治療機能こそが重視されるべきと考えます。

第3には、精神科デイケアへの参加の初期1年間に50点の加算が付いておりますが、1年間では短すぎます。少なくとも3年間にして下さい。

理由：デイケアでのリハビリテーションが1年間で卒業できる方はほんの一部です。少なくとも2年間かけてやっと障害者就労ができるか、それ以上かかる方が多いのが実際です。

以上

日本デイケア学会事務局：東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F
(有)エム・シー・ミュージズ内 TEL：03-3813-6368